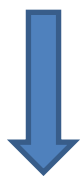
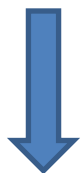


【ボール加工・研磨方法の検討】

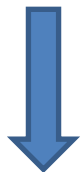
ボールは加工機の特長上、どうしても赤道が残ってしまう。



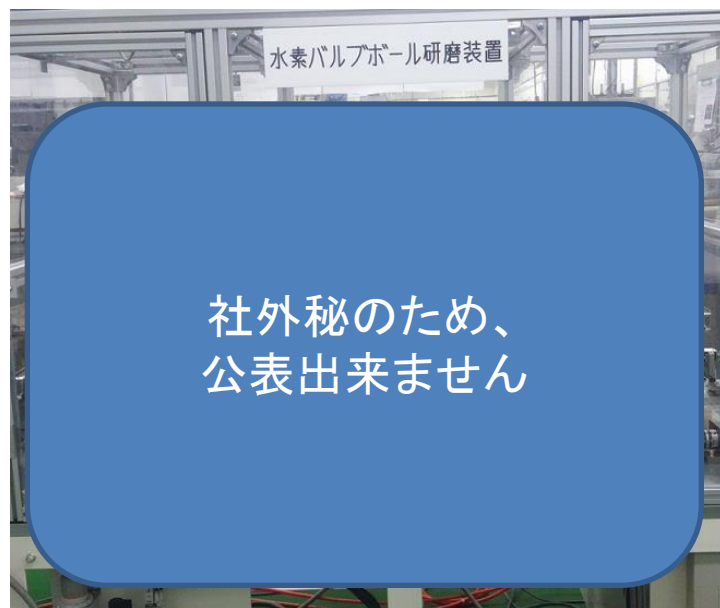
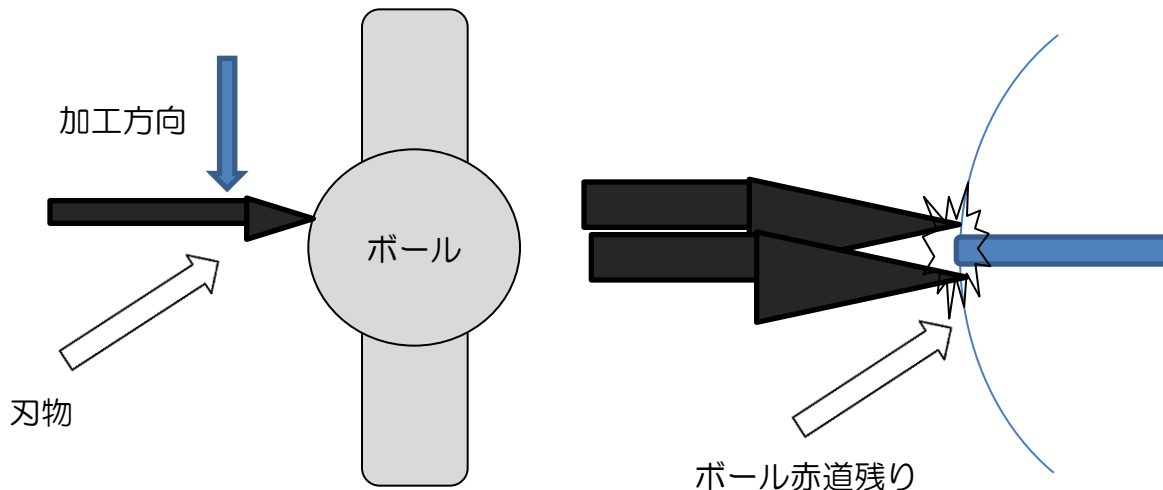
ボール研磨が必要となる



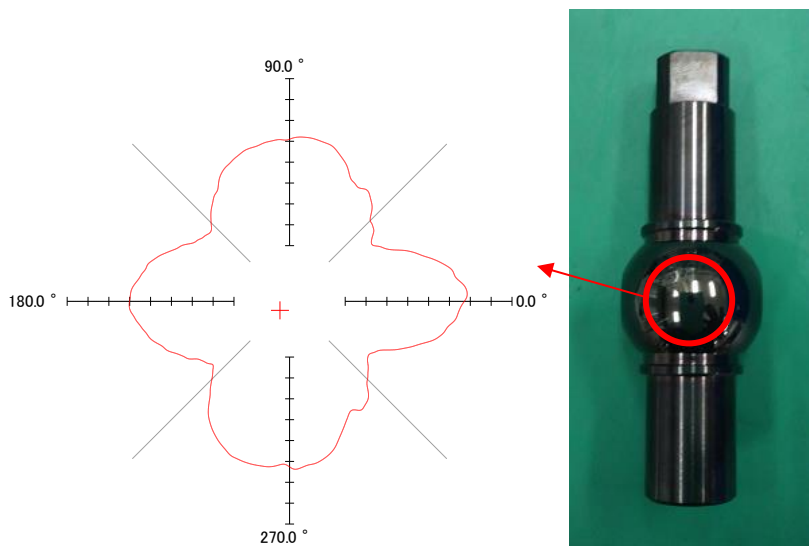
ボール研磨の実施



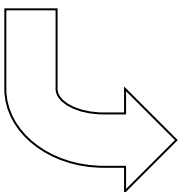
社内にて専用ボール研磨機を導入し、研磨工程の確立



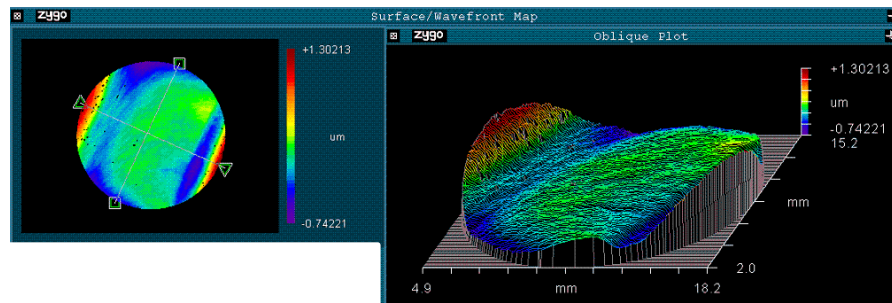
シール部の真円度測定



花びら形状の確認
(図面公差内)

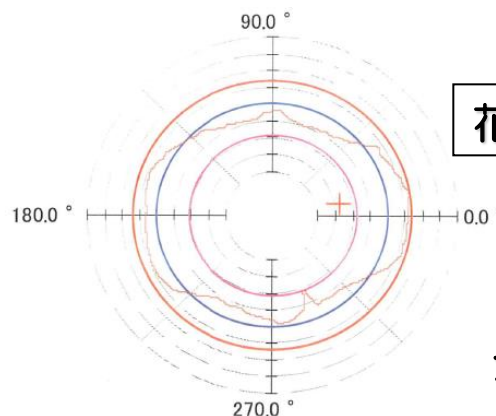


- ワークチャック方法の見直し
(芯出し固定)
- ラップ研磨条件の見直し
(回転数、研磨剤、研磨時間、研磨回数等々)



原因として

研磨での赤道残り



花びら形状解消の実現

シール面を一様にした

【まとめ】

ボールバルブにおいて

高圧で分子の小さいガスを封止するには

- 高圧の流体から発生する高面圧に耐えうる硬度が必要



高硬度且つ膜圧の表面処理（DLCコーティング）を採用

- 分子の小さいガスを逃さないシール構造



オフセットタイプシート構造と精密なボール製造

キッツは、水素エネルギーサプライチェーンに向けて
安価で高機能、高品質のバルブを提供することで
水素エネルギー社会の普及実現に貢献します。

ご清聴有難うございました。